

「市民の庭」～未来を見据え、市民と共にまちづくりを考える場所

◎ 提案のポイント

- 1 南側の高い地盤に配置する
- 2 合理的な形態によるコスト縮減
- 3 防災庁舎との緊密な連携
- 4 窓口が一望できる台形プラン
- 5 圧迫感の少ない四方正面の庁舎



あたらしい市庁舎は、『心安らぐ幸せ実感都市 はしま』を実現する基点となり、市民の交流の場となることを目指し、まちの活性化の大きな契機となることが大切です。

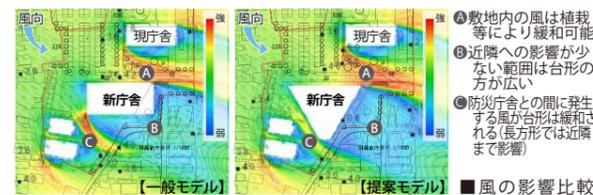
私たちは、羽島市の歴史やまちの特徴を読み解き、それを現在の土地のポテンシャルに活かし、敷地の特性を考えて、あたらしい市庁舎の計画に継承することが重要と考えます。

羽島市の財産といえる、現庁舎の池や緑豊かな庭を活かしたあたらしい広場『市民の庭』を中心とした新庁舎は、市民と共にこれからの羽島市のまちづくりを考えるきっかけになることでしょう。

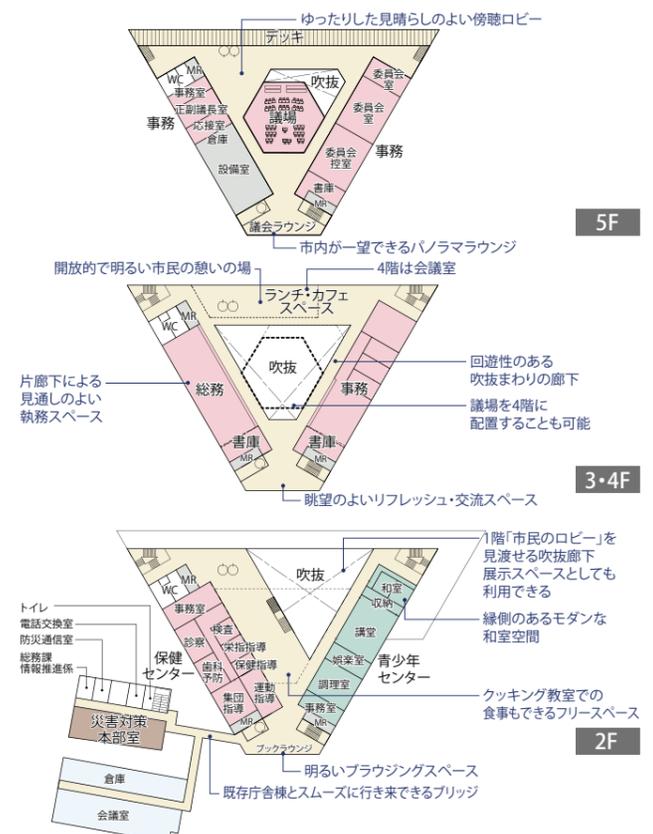
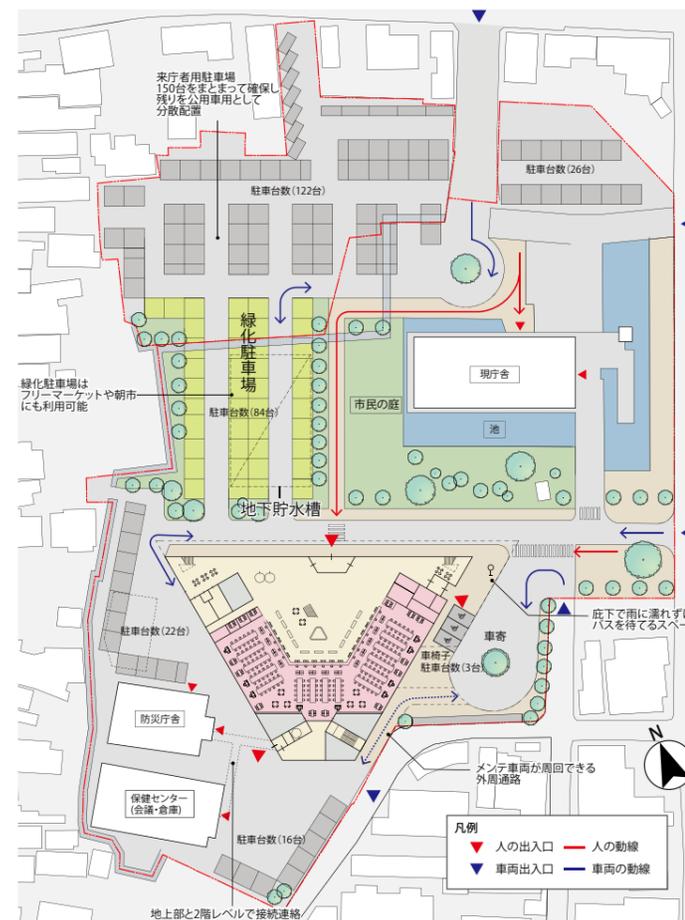


合理的で周辺環境に配慮した新庁舎

案	A	B	C	D
平面形態	長方形(東西軸)	正方形	L型	台形
平面形状(面積)	2340	2343.5	2344	2340
外壁周長	216	194.6	238	210
柱の数(杭のヶ所)	30本	25本	30本	20本
躯体費比較	100	98	102	95



コンパクトで合理的、安全・安心な庁舎 ～機能的な執務空間～



市民と共につくり 育む『市民の庭』

